令和8年度　北斗病院　看護職員負担軽減計画

目的
当院では、従来より看護職員の負担軽減及び処遇の改善については、これまで鋭意努めてきたところではあるが引き続き、看護職員にとって魅力ある職場環境を実施することにより、離職者を減少させ、新卒者や在籍者から選ばれる病院とならなければならない。本計画は真心のこもった看護サービスを提供するために、看護職員が心身ともに健康で職務を遂行することができる環境整備を推進することを目的とする。

負担軽減項目	取組条件	取組項目	全体的な取組目標
看護師の採用拡充	任意	病棟スタッフ数維持のための採用拡充	病棟スタッフの採用拡充による安定的確保により業務環境を整備する。
院内保育所の充実	必須	育休明けに安心して働く事が出来るよう0歳児から就学前までの幼児を対象とした24時間対応の院内保育所を設置している	24時間対応の院内保育所を設置して受入れ体制を継続する
看護補助者の配置	必須	看護補助者の配置拡充を行い、看護師本来の業務に専念できる体制づくりを実施する	病棟への看護補助者の配置拡充
		レイトアシストの導入(16:00～22:00)	
短時間正規雇用の看護師	任意	育休明け職員やパート職員の勤務時間延長による短時間正規雇用看護職員を拡充して看護師の確保に努める	日勤業務での短時間正規雇用看護職員の拡充
ベットメイキング	任意	看護補助者を専任としベットメイキング業務を実施する	看護補助者を専任として業務を実施する
物品の院内運搬・補充	任意	SPDシステム導入、アシスタントスタッフによる院内運搬、補充を実施	病棟内の定数管理は看護補助者を専任として業務を実施する
患者の検査室等への移送	任意	患者の検査室等への移送について診療画像科、臨床検査科、助手等による移送を実施する	看護職員は原則実施せず、検査担当部署、助手による移送を実施する
(一般病棟)多職種協働加算2の取得と維持	任意	【管理栄養士】が協働し専門的な指導や診療の補助を行う	栄養評価、食事調整、退院栄養支援を実施する
	任意	【臨床検査技師】が協働し専門的な指導や診療の補助を行う	異常値共有、検体出し、生理検査の実施、送迎を実施する
	任意	【理学療法士】が協働し専門的な指導や診療の補助を行う	早期離床、歩行、廃用予防を実施する
	任意	【作業療法士】が協働し専門的な指導や診療の補助を行う	ADL、認知、生活行為の再建を実施する
	任意	【言語聴覚士】が協働し専門的な指導や診療の補助を行う	嚥下、誤嚥予防、コミュニケーションを実施する
夜間における看護業務管理	必須	11時間以上の勤務間隔の確保	勤務計画表作成時にシステムによる11時間以上の勤務間隔の確保を実施
	必須	夜勤の連続回数が2連続まで	勤務計画表作成時にシステムによる連続夜勤の制限を行う(2連続まで)
	必須	早出、遅出の勤務体制の導入	勤務計画表に早出、遅出のシフトを組んだ勤務体制の継続
看護職員の勤務体制に係る取組み	任意	短時間雇用の実施	多様なニーズに対応すべく短時間勤務や非常勤勤務の継続
	任意	勤怠システム導入	ICカードによる打刻にて出退勤の管理・時間外労働時間の把握を行う
	任意	リフレッシュ休暇の付与(年次有給休暇と別枠の休暇)	休暇促進に向けて取得率を向上する取組みの検討